

環境保全工学

1. 水環境保全に関連する以下の問いに答えよ.

- (A) 溶存酸素は有機汚染の指標として用いられるが、水中に存在する有機汚染物質が何の働きで、どうなるときに溶存酸素が消費されるため、指標として用いられるのかを説明せよ.
- (B) 排水基準は大きく分類すると有害物質とその他の項目から構成されているが、水質環境基準の大項目のうち、有害物質に対応する項目はなんと呼ばれるか.
- (C) 排水基準の強化のうち、条例により国の定める一律排水基準より規制値を厳しくした排水基準はなんと呼ばれるか. また規制の対象となる特定事業場からの排出水量の制限を切り下げることがをなんと呼ぶか.

2. 環境政策に関する以下の問いに答えよ.

- (D) 直接規制の長所として確実性があげられるが、その実効性を高めるために必要なことはなにか. また環境税や課徴金に比べ、直接規制が有効と考えられる環境汚染はどのようなものか.
- (E) 環境政策実施において汚染排出量の社会全体での削減費用を最小にする効果はなんと呼ばれるか. またそのような効果が期待できる環境政策は何か.
- (F) 環境政策の実施において、対象とする環境問題に応じて政策手段を適切に組み合わせることはなんと呼ばれるか.

3. 廃棄物の政策に関する以下の問いに答えよ.

- (G) 家庭ごみの有料化において、リバウンドを防止するために重要なポイントをふたつあげよ (併用施策の実施は除く). また、そもそも有料化はどのような目的で実施されるのか.
- (H) 産業廃棄物のマニフェスト制とはどのようなものか. またマニフェスト制の目的はなにか.

4. リサイクルに関する以下の問いに答えよ.

- (I) 容器包装のリサイクルでは、特にリサイクルのどのプロセスのコストが大きいため資源化貧乏 (リサイクル貧乏) がおこると考えられているのか. また、プラスチック容器のどのような性質が資源化貧乏につながるのか.
- (J) 拡大生産者責任の観点から考えられる資源化貧乏の解決策はなにか.
- (K) 製品のリサイクルの妥当性を判断するためにも利用できるその製品の製造から廃棄までの環境影響を評価する手法はなんと呼ばれるか.